

算数の第2回、テーマは「等式の両辺に」です。

例題： 次の□にあてはまる数を求めなさい。

① $(\square \times 4 - 10) + 12 = 38$

② $\frac{1}{3} + (8 - \square) \times \frac{1}{5} = 1$

解答： 等号（イコール）の左側を左辺、右側を右辺、左辺と右辺を合わせて両辺といいます。等式の両辺に同時に同じ処理をしていきますが、手をつける順番があります。

① 両辺から12を引いて $\square \times 4 - 10 = 26$ (次に10を消します)

両辺に10を足して $\square \times 4 = 36$ (次に $\times 4$ を消します)

両辺を4で割って $\square = 9$ …… 答

② 両辺から $\frac{1}{3}$ を引いて $(8 - \square) \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3}$ (次に $\times \frac{1}{5}$ を消します)

両辺に5をかけて $8 - \square = \frac{10}{3}$ ($\frac{10}{3} = 8 - \frac{14}{3}$ となるので)

$\square = \frac{14}{3} = 4\frac{2}{3}$ …… 答

練習問題： ① $(\square \times 4 + 2) + 29 = 87$ (12年度A日程)

② $\frac{1}{7} + (\square + 2) \times \frac{3}{10} = 1$ (12年度B日程)

国語②の解答と解説

〈解答〉

答えは ①イ ②ア ③エ です。

〈解説〉

①「蛇足」は中学の昔話から出来た言葉で、中学一年生の教科書に載っています。すこし小学生の皆さんにはなじみがうすかったかもしれません。

古代の中国にこんな話がありました。ある日、蛇の絵を先に描き終わった人が先に酒を飲めるという競争をしていました。ある人は蛇の絵を誰よりも先に描き終わりましたが、「私は蛇のしっぽも描ける」と言って、蛇のしっぽを描きました。そして他の人に先を越されて、酒を飲み損なってしまいました。そんな昔話から出来た言葉です。

②は同じようなもの同士で比べ合いをすること。

③は「祖父は孫を目に入れても痛くないほどかわいがっている」などによく使われます。